

# 西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	48	事務事業名 (中事業名)		佐久島活性化事業 ( )					
予算科目	02	01	14	大事業	02	中事業	00	担当課名	佐久島振興課
総合計画施策コード	634			事務開始年度	平成13年		備考		
根拠法令等	島の地域資源の発掘や活用を推進し、活性化をはかる						作成月	令和3年9月	

## 事業の概要

### ●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	佐久島固有の資源(自然、風土、歴史、産業)を発掘・研磨し、経済的発展、交流人口の増加、定住人口の確保など島の活性化を推進する。
事業の対象 (誰(何)のために)	佐久島住民(以後島民と言う)と観光客及び島おこしに興味のある者
事業の概要 (具体的に何を)	佐久島固有の資源を引き出すためのアートプロジェクト事業を実施し、アートによる島おこしを展開する。また、島民による島おこしの団体「島を美しくつくる会」との協働により、アマモの移植活動、黒壁運動、梅園や里山整備等島外のボランティアと交流しながら島の活性化を図る。こうした島内で開催されるイベントや行事等の情報発信をするため、ホームページ委託事業も実施し、島の魅力などの情報発信を行う。

### ●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	21,117,119円	16,157,621円	20,912,000円	
事業にかかる人工	2.50人	2.50人	2.50人	
事業にかかる人件費②	17,968,895円	18,166,130円	18,206,945円	
総事業費③(①+②)	39,086,014円	34,323,751円	39,118,945円	
総財源業内費③の	使用料・手数料	42,000円	15,500円	45,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	39,044,014円	34,308,251円	39,073,945円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-4,762,263円	R2 総事業費③の対前年度比率	-12.18%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、アートイベントや島おこし、ボランティア活動などが縮小または中止になってしまったため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	地域活性化プロジェクト委託料	8,424,900円	
	委託料	ホームページ更新業務委託料	1,592,140円	
	補助金	佐久島活性化事業補助金	1,570,109円	

### ●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	西尾市渡船利用者数(島民、定期券除く)					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	107,000	人	107,000	人	107,000	人
	実績値	106,607	人	74,961	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	アートプロジェクト等のイベント件数、島の風だより掲載、ホームページの更新件数等					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	179	件	237	件	205	件
	実績値④	237	件	205	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	164,920円	167,433円		*****			

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	アートプラン21、ホームページ等
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	交流人口は以前より増加傾向だが、定住人口の増加に繋がっていないため、転入者増加による人口の増加を目指す必要があるため、継続的に事業の実施が必要。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		△		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	コロナ禍において、催しの中止・縮小、来島者の減少になりながらも、マスコミ等による取上げ数は、大幅な減少はなかった。活性化を図るため、継続的に事業展開を図りたい。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	島民と島外ボランティアによる環境保全活動を維持し、SDG s 達成を図る。また、「アートと自然の調和」を目標に、関係人口の増加を図る。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	島の活性化に取り組む任意団体「島を美しくつくる会」との協働により事業の推進強化を図る。					
事業全体の課題	「島を美しくつくる会」の活動年齢層が高齢により、次世代に伝承していく必要があるため、若者への育成が必要。また、定住するための空き家の状況把握ができていない。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	漁業体験プログラム、キッズアドベンチャー、人とイルカとのふれあい事業、島弘法巡り、郷土学習、観光ガイドなどを行っている。事業主体は民間または島民で行っている。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	一時のブームに頼らず、本来の「島らしさ」を大切にしながら、定住促進を継続していくことが必要。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	「島を美しくつくる会」を担う次世代の若者に育成のサポートをしながら、継続的に事業を図っていく。また、空き家の現状調査を行い、移住定住相談者にリアルタイムな空き家情報が提供できるよう進めていく。
--------	--